



ブラックジャック 【基本】ガイドブック

【目次】

■ ブラックジャックとは

■ 基本的なルール、遊び方

■ ブラックジャックの基本用語

■ 攻略法

■ 実際にブラックジャックで遊んでみよう

■ブラックジャックとは

ブラックジャックとは、トランプを使ったゲームの一種で、簡単に説明すると、ディーラーとプレイヤーとが2枚ずつのカードが配られるところからスタートし、

カードの合計が21以下（21が一番強い）で、
21に近い方が勝ちという非常にシンプルで簡単なゲームです。

ブラックジャックの歴史は、16世紀後半、ヨーロッパの家庭用ゲームから発展したゲームと言われています。

スペードのAまたはJが出ると特別ボーナスがもらえるルールがあったことから、

「**ブラックジャック**」と呼ぶようになり、ゲーム名にもなりました。

その後「**ブラックジャック**」の定義は「スペードのAとJ」からスペード限らず、

「A と 10 J,Q,K」に拡大されました。

ブラックジャックは、ヨーロッパから生まれたゲームになりますが、19世紀後半にはアメリカでも楽しめられるようになり、

1960年代にブラックジャック必勝法が考案され、広められたされたことにより、爆発的な人気を集めました。

単純明快なルールと駆け引きの奥深さから、世界中で高い人気を持つゲームに発展しました。

世界的にポピュラーなゲームなので、やったことがある！！知ってる！！という人も多く、

カードゲームの中でも最も定番で人気の高いゲームの一つです。

■ 基本的なルール、遊び方

カジノで行われるブラックジャックは、プレイヤーはプレイヤー同士ではなく、**ディーラー（親、胴元、ハウス）**との間で1対1の勝負を行います。

プレイヤーが何人いる場合は、ディーラーは複数のプレイヤーと同時に勝負を行います。

各プレイヤーの目標は、21を超えないように手持ちのカードのポイント合計を21に近づけ、その数字がディーラーより21に近づくことです。

手の中のカードのポイントは、カード2~10ではその数字通りの値であり、また、絵札である、K（キング）、Q（クイーン）、J（ジャック）は10と数えます。

カードの数え方



1 または 11



2 ~ 10
各数字と同じ数え方



絵札は10として数えます



例

この場合、7と9で合計16となる

A（エース）は、手持ちのカードの合計が21を超えない範囲で11と数え、超える場合は1として数えます。

なお、Aを11と数えても21を超えない手持ちカードの組み合わせのことを、「**ソフトハンド**」と呼び、Aを1として数える、またはAを含まない状態を「**ハードハンド**」と呼びます。

ソフトハンド



$$8 + A \begin{cases} \text{Aを1とする} & 9 \\ \text{Aを11とする} & 19 \end{cases}$$

このようにAを1でも11でも好きな数に出来る状態をソフトハンドと言います。

ハードハンド



$$8 + 9 = 17$$

Aを1としか数えることが出来ない状態、またはAを含まない状態をハードハンドと言います。

各プレイヤーが初めの賭けを終えると、ディーラーはカードを自分自身も含めた参加者全員に2枚ずつ配り、ディーラーの2枚のカードのうちの1枚は表向きにされ、全員見ることができます。

もう1枚のカードは伏せられているプレイヤーのカードはカジノによってフェイスアップ（表向き）の場合とフェイスダウン（裏向き）の場合もありますが、

現在主流になっている6デッキ以上を利用するルールにおいてはフェイスアップで配られることが通例（常識）となっています。

この時点で、プレイヤーが21（1枚は10、J、Q、Kのうちのどれかで、もう1枚はAという組み合わせの場合のみ可能）であれば「**ブラックジャック**」又は「**ナチュラル21**」と呼ばれ、ディーラーが21でなかった場合には、掛け金の2.5倍の払い出しを受けることができます。

プレイヤーもディーラーもブラックジャックの場合には引き分け（プッシュ、スタンドオフ）となります。

プレイヤーが21ではなくディーラーがブラックジャックの場合にはこの時点で自動的にプレイヤーの負けとなります。

■ブラックジャックの基本用語

• ベット (BET)

チップを賭けることをいい、
以下のように、テーブルにチップをおきます。



• ディーラー (DEAL)

ディーラーがカードを配ることをいい、ベットしてから上記の
「ディーラー」の画像をクリックするとカードが配られます。

• ヒット (HIT)

さらにカードをもらうことをいい、下記のように「ヒット」の
画像をクリックするとカードがもう1枚配られます。



• スタンド (STAND)

それ以上カードを引かないことをいい、
以下のように、自分の手札の合計が「20」などの場合は、
これ以上をカードを引く必要がないので、「スタンド」を選択します。



• スプリット (SPRIT)

同じ数のカードが2枚配られた場合、2つの独立した手に分け、それぞれの手に賭けることができます。これを行うには最初の賭け金と同額の賭け金を追加しなければなりません。

以下の場合、最初に配られたカードが、「3」と「3」。ベットした金額は5ドルでした。

この場合、5ドルを追加することで、以下のように最初の組み合わせを分裂させ、ハンドを1つ増やしてゲームを行うことができます。



・ダブルダウン (DOUBLE DOWN)

次のカードを引いて勝てると確信した場合に、カードをあと1枚しか引かないことを宣言して賭け金を倍(通常2倍)にして、カードを引くことをいいます。

例えば以下の左の「4」と「7」のカードの組み合わせをみて下さい。
他のカードにどれくらい絵札(10)が出ているか?などを見てからの判断となりますが、最初に配られたカードの合計が「11」であれば、次にどんなカードを引いてもバースト(22以上)になることはありません。
また、絵札や10が出る確率も高いので、このようなケースにおいて「ダブル」を宣言し、倍の賭け金を払って、2倍の利益を取りに行くことができます。



・インシュアランス (INSURANCE)

ディーラーの表向きに配られたカードがエースのとき、最初に賭けたチップの半額を追加することにより、インシュアランス(保険)をかけることができます。ディーラーが「ブラックジャック」だと思うときには、インシュアランスをかけます。



インシュランスをかけていれば、ディーラーが「ブラックジャック」であった場合、保険金が2対1で支払われます。ディーラーが「ブラックジャック」でないときは、保険金のみ没収されます。

ディーラーにエースが出るたびに賭けるかどうか聞かれます。

• ブラックジャック (BLACK JACK)

ゲームの名称でもある「ブラックジャック」は、厳密に言うと、最初の2枚のカードで21点を獲得した場合を指します。(別名「ナチュラル21」)



• バースト (BURST)

数字が21を超えるカードをいいます。この場合は、ディーラー側のカードがいかなる場合でもこちらの「負け」となります。



・プッシュ (PUSH)

プレイヤーとディーラーのハンドが引き分けの場合を指します。



ブラックジャックで必要な用語、ルールは基本的にこれだけです。

いかに、21に以下にカードを近づけることが出来るのか？
という基本的なルールのもと、それに付随するルールがあるだけです。

そして、このようにシンプルなルールだからこそ、
基本的な「攻略法」なるものも存在します。

ブラックジャック攻略法、ストラテジー編に続きます。